

## 「歌に見る高山の風景」

平成30年10月20日(土)～21日(日) 於 高山市図書館「煥章館」

主催 一般社団法人 高山市文化協会 共催 高山市

		読み下し	作者	
[軸・写真]				
	小楼偶来	朝眺臥牛山 暮看臥牛山 山色有朝暮 不厭臥牛山	赤田	章斎
待郭公	大秀	老ぬればこころいらちてホトトギスおほののな さけいとどまさわる	田中	大秀
春	久々濃山	くくの山木立もしげく立こめて檜原かすめる春 のあけぼの	田中	大秀
春	山口	分ゆかむおくをいくへの白雲もにほひそめたる 花の山口	田中	大秀
夏	保能府里	かやりたく煙いふせき夕暮は月もほのふの里と こそみれ	田中	大秀
夏	水無神社	宮殿の御前すゝしも水無川みそぎに罪やみな月 の空	田中	大秀
秋	錦山	秋の色をそむる時雨のたてぬきもよそにことな る錦山かな	田中	大秀
秋	那陀	秋風に穂波をわたる鳥が音のかりしほみ見ゆる 灘のおきつ田	田中	大秀
冬	細江	風さむみ細江のみぎわ氷るらしねぬ夜ふけゆく 菅鳥のこえ	田中	大秀
冬	位山	くらゐ山坂路もやすく昇りけむ雪のひかりのあ きらけき世に	田中	大秀
	社頭霞	さくら山神の宮居も霞むなり梢の花や慕いそぐ らむ	富田	礼彦
	御母衣ダムの碑	すゝみゆく御代のしるしとうもれても荘白川の 名をとこしへに	佐々木	信綱
	御母衣にて	蚕守る 灯も見えなくなる 楯の火もささず	河東	碧梧桐
	白川	大家族の 遺す家ウリの 木の茂り 碧	河東	碧梧桐
		乗鞍晴れを紅葉もて遠忌飾るかな	大谷	句仏
		風とほし五百箇谷々乃若葉吹き天津鞍可ねの雪 の山吹き	牧野	英一
	高山歌謡	一節 忘れなさるな 高山は城下 飛驒の匠が 出た処…	野口	雨情
		遠く乗鞍群立つ雲に飛驒の高山雨となる	野口	雨情
若山牧水	歌碑	のぼり来て 平湯峠ゆ見はるかす ひだの平に 雲こぼりたり	若山	牧水
		山々のなかの静けきみやこにはしかるべきよき 新聞出でよ	若山	牧水
		みなかみに かすみたまふ神通川 青葉も鮎の きそひのぼるも	牧野	良三
		飛驒の山しなののやまも越のやまも よひかは し居り霧のおほ海	牧野	良三
		く羅ゐ山 一位わか葉のあさ露の 落ちてなが れて 鮎となるころ	牧野	良三
	夕咲 碑	み佛の思惟の姿に 似たらずや静けきかもよ岳 の夕はえ	福田	夕咲
福田夕咲	歌碑	いわのなる 沼の水乃面に白くものうつろうみ ればそぞろさびしき	福田	夕咲
		ひだびとが 山の峽に築かけて鮎の降りを待つ 時雨かな	福田	夕咲
		蓴菜泛く秋さむき池美女峠	松村	蒼石
瀧井孝作	句碑	大銀杏 鳥のこもりね 若葉哉	瀧井	孝作
瀧井孝作	句碑	短夜の 鐘のねいろに 目覚めけり	瀧井	孝作

	読み下し	作者
	乗鞍に 雪光る日や 蕪引	瀧井 孝作
荘川桜の碑	ふるさとは水底となりぬ うつし来しこの老桜 咲けとこしへに	作 高碇 達之助 書 藤井 崇治
鎌手白映歌碑	のりくらは 天のた可山夕焼てただれて燃えて 空に消えたり 天辺にとりのこされし柿ひとつみかえる人のな くてうれおり	鎌手 白映 大埜間 霽江
	飛驒涼し北指して川流れをり	大野 林火
	水きよき飛驒の細江に山ながらうつる紅葉もい く千代の秋	日野大納言 (弘資)
	すのり川岸の桜の影みへてさゞ波かほる灘の春 風	富田 礼彦 (定彦)
	曾聞窓嶺嶮 西竺路漫々 適過騎鞍道 疑為異 城看 野麦道中	寒巖 和尚
	春風ににほひをとめて位山深きめぐみに色をみ るかな	飛鳥井大納言 (雅章)
[額・短冊・本、他]		
有華堂十勝「三福寺十勝」	東嶽晴雪 壁立三千丈 朝陽上碧空…	赤田 臥牛
蓑石山記	岩屋虔村の川辺に蓑石といふ有	書 岩佐一亭 文 吉村豊足
豊臣公の昇進の糸に	人は皆ふもとにきつゝ位やまみねのましらを仰 ぎてぞ見る 行末も長倉山に年を経て 四方に木垂れる松の 一本…	富田 礼彦 蒲 八十村
野霧	海をなし千鳥いしうら名にたてど晴るゝ片野や 秋の朝霧	森野 梢隆
	山は飛驒の高波と月に晴れがまし	小峰 大羽
	明け六つの かねが御坊ゆわが町の 家々に鳴 る わが家にも鳴る Strong enough for gentleness and wise enough for tolerance.	牧野 英一 牧野 良三
	飛驒山の 腰高障子 人と成	瀧井 孝作
井上 靖 碑文	人間が造った 古い歴史と文化の町を…	井上 靖
	『山の日に』	笠 俊介
	和仁市太郎詩集『禁猟区にて』 高山詩抄「城坂にて・神明通り」	和仁 市太郎
	『みなかみ紀行』	若山 牧水
一位木歌	一位之山靈赫然 維神生木稱一位	桐山 玄豹
	飛驒景色団扇	丸山 晚霞
	飛驒の子の はないちもんめ 梅雨晴間	松崎 鉄之介
	飛驒行不参 残る心に 残る虫	中村 草田男
霧雲	奥久手に 朝霧こめて おちの山 しまとも見 ゆる きりのうみかな 錦山 名にもたがわず もみじ葉の あきのさ かりは めずらしきかな	後藤 重郷 杉下 豊
寄車田祝	吉事の 三めぐりめぐりて 車田の 八束たり 穂や 君にささげむ	都築 靈源
春国里	松倉の 三谷をいでて うぐいすの はつ音に におわす 春国の里	富田 道彦(浅次郎)
ほ伎路	酒をうる ほ伎路のやとは 放えに しばしや すらう 四方のたび人	
[屏風]		
	斐太名所四季図	富田 豊彦
	高山市鳥瞰図	前田 万岳